



副社長の萩野でございます。

本日はお忙しいところ、弊社の第3四半期決算説明会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

1. 2013年3月期 第3四半期実績
2. 事業環境と最近の取組み
3. 巻末資料

**ご注意**

※ 本資料に含まれる将来の予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、内外の経済や情報サービス業界の動向、新たなサービスや技術の進展により変動することがあります。

従って、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。

※ 本資料に掲載されているサービスおよび商品などは、株式会社NTTデータあるいは各社の登録商標または商標です。

お手元の資料に基づきまして、第3四半期の実績、および業績見通し等につきまして、ご説明させていただきます。



まずは、第3四半期の実績でございます。

資料上、9か月累計実績と3か月実績を記載しておりますが、4月～12月の9ヶ月累計を中心にご説明します。

## 2013年3月期第3四半期決算のポイント

NTT DATA

|                | 2013年3月期<br>第3四半期累計<br>(4~12月) | 前年同期比               |   | 2013年3月期<br>第3四半期<br>(10~12月) | 前年同期比                |   | 進捗率   |
|----------------|--------------------------------|---------------------|---|-------------------------------|----------------------|---|-------|
| 受注高            | 9,188億円                        | + 710億円<br>+ 8.4%   | ➡ | 2,389億円                       | + 5億円<br>+ 0.2%      | ➡ | 81.3% |
| 売上高            | 9,118億円                        | + 230億円<br>+ 2.6%   | ➡ | 3,070億円                       | ▲100億円<br>▲ 3.2%     | ➡ | 71.2% |
| 営業利益           | 488億円                          | ▲25億円<br>▲ 4.9%     | ➡ | 187億円                         | ▲ 18億円<br>▲ 9.2%     | ➡ | 57.5% |
| (*)<br>セグメント利益 | 420億円                          | ▲48億円<br>▲ 10.3%    | ➡ | 170億円                         | ▲ 14億円<br>▲ 7.8%     | ➡ | 57.6% |
| 四半期純利益         | 220億円                          | + 56億円<br>+ 34.6%   | ➡ | 86億円                          | + 46億円<br>+ 118.7%   | ➡ | 58.0% |
| EPS            | 7,863円                         | + 2,022円<br>+ 34.6% | ➡ | 3,072円                        | + 1,667円<br>+ 118.7% | ➡ | 58.0% |

(\*) セグメント利益は税金等調整前四半期純利益を示す

Copyright © 2013 NTT DATA Corporation

4

第3四半期の決算のポイントですが、引き続き厳しい事業環境の下、受注高、売上高は前期の実績を上回ることができました。

一方、営業利益とセグメント利益は、前期の大規模システム完成の反動減やグループ会社再編に伴う関係会社再編損の計上などにより、それぞれ減益となっております。

四半期純利益は、前期に発生した繰延税金資産の取崩等の一過性の税負担が当期にはないことなどにより、前年同期比56億円の増益となりました。

次のスライド以降で、それぞれの詳細をご説明いたします。

P&Fは、単体における大規模案件の受注、及び連結拡大影響等により増加。  
E-IT及びS&Tは、前期並み。  
GBは、連結拡大影響等により増加。

|                          | 2013年3月期<br>第3四半期累計<br>(4~12月) | 前年同期比               |   | 2013年3月期<br>第3四半期<br>(10~12月) | 前年同期比               |   |
|--------------------------|--------------------------------|---------------------|---|-------------------------------|---------------------|---|
| パブリック&フィナンシャル<br>(P&F)   | 5,095億円                        | + 517億円<br>+ 11.3 % | ➡ | 1,029億円                       | + 67億円<br>+ 7.0 %   | ➡ |
| エンタープライズITサービス<br>(E-IT) | 2,108億円                        | + 2億円<br>+ 0.1 %    | ➡ | 600億円                         | ▲ 115億円<br>▲ 16.2 % | ➡ |
| ソリューション&テクノロジー<br>(S&T)  | 282億円                          | ▲ 2億円<br>▲ 0.9 %    | ➡ | 65億円                          | + 5億円<br>+ 9.8 %    | ➡ |
| グローバルビジネス<br>(GB)        | 1,690億円                        | + 187億円<br>+ 12.5 % | ➡ | 687億円                         | + 43億円<br>+ 6.7 %   | ➡ |
| 連結値                      | 9,188億円                        | + 710億円<br>+ 8.4 %  | ➡ | 2,389億円                       | + 5億円<br>+ 0.2 %    | ➡ |

(\*) 開示セグメントの変更に伴い、2012年3月期実績の値を以前開示した数値から変更。前年同期比は変更後の数値に基づき算出。  
(\*) 連結値はその他/消去を含むため、各セグメントの単純合算とは整合しない。

Copyright © 2013 NTT DATA Corporation

5

受注高については、当社単体における大規模案件の前倒し受注や、連結拡大影響等により、パブリック&フィナンシャル（以下、P&F）が前年同期比11%増加しました。

エンタープライズITサービス（以下、E-IT）は、上期までに受注した既存案件の拡大による増加はあるものの、第3四半期での前期の反動減もあり、前期並みに留まりました。

ソリューション&テクノロジー（以下、S&T）も、ほぼ前期並みです。

グローバルビジネス（以下、GB）においては、連結子会社の拡大に伴い増加しました。

結果、全体では前年同期比8%の増加となりました。

受注は、お客様との契約時期により計上のタイミングがずれることもあり、第3四半期3か月間の伸びはわずかですが、全体の受注状況に関しては、上期に引き続き、好調を維持していると見ております。

P&Fは、連結拡大影響はあるものの、前期完成大規模システムの反動減等により減収。  
E-IT及びS&Tは、単体及び既存子会社の規模拡大影響等により増収。  
GBは、連結拡大影響及び欧米を中心とした既存子会社における増加により増収。

|                          | 2013年3月期<br>第3四半期累計<br>(4~12月) | 前年同期比                   |          | 2013年3月期<br>第3四半期<br>(10~12月) | 前年同期比                   |          |
|--------------------------|--------------------------------|-------------------------|----------|-------------------------------|-------------------------|----------|
| パブリック&フィナンシャル<br>(P&F)   | 5,065億円                        | ▲142億円<br>▲2.7%         | ↘        | 1,722億円                       | ▲160億円<br>▲8.5%         | ↘        |
| エンタープライズITサービス<br>(E-IT) | 2,088億円                        | +133億円<br>+6.9%         | ↗        | 670億円                         | +5億円<br>+0.9%           | ↗        |
| ソリューション&テクノロジー<br>(S&T)  | 1,201億円                        | +62億円<br>+5.5%          | ↗        | 408億円                         | +13億円<br>+3.4%          | ↗        |
| グローバルビジネス<br>(GB)        | 1,761億円                        | +264億円<br>+17.7%        | ↗        | 607億円                         | +56億円<br>+10.2%         | ↗        |
| <b>連結値</b>               | <b>9,118億円</b>                 | <b>+230億円<br/>+2.6%</b> | <b>↗</b> | <b>3,070億円</b>                | <b>▲100億円<br/>▲3.2%</b> | <b>↘</b> |

(\*) 開示セグメントの変更に伴い、2012年3月期実績の値を以前開示した数値から変更。前年同期比は変更後の数値に基づき算出。  
 (\*\*) セグメント別は内部取引を含む。  
 (\*\*\*) 連結値はその他/消去を含むため、各セグメントの単純合算とは整合しない。

Copyright © 2013 NTT DATA Corporation

6

次に売上高です。

P&Fにおいては、増加要素として、連結拡大や単体における新規案件の寄与等はあるものの、前期に完成した大規模システムの反動減の影響等により減収となりました。

反動減の内容について、1つは第2四半期にもご説明した統合ITソリューション、もう1つは前年第3四半期完成の大規模システム・ソフト開発案件ですが、いずれも期初に発表した通期業績予想に織込み済です。

E-ITにおいては、主に単体における機器販売の増加や既存子会社の規模拡大等により増収となりました。

S&Tにおいても単体および既存子会社の規模拡大が牽引し、また、GBは連結拡大影響、および欧米を中心とした既存子会社における拡大によりそれぞれ増収となりました。

このように、P&Fの減収を他の3つのセグメントがカバーし、全体では前年同期比2.6%の増収となりました。

第3四半期の3か月間は、全体では減収となりましたが、先ほど申し上げた通り当初予想には織込み済です。足元では他の案件でのリカバリーも進んでおり、通期計画達成に向けては予定通りの進捗と考えております。

P&Fは、前期完成大規模システムの反動減による減収等により減益。  
 E-ITは、前期に比べ機器販売のウェイトが高くなったことや、コスト低減要請の影響等もあり減益。  
 S&Tは、全社コスト配分見直しの影響を除けばほぼ前期並み。  
 GBは、欧米を中心とした既存子会社の増収や、利益改善施策効果により増益。

|                           | 2013年3月期<br>第3四半期累計<br>(4~12月) | 前年同期比                         |   | 2013年3月期<br>第3四半期<br>(10~12月) | 前年同期比                   |   |
|---------------------------|--------------------------------|-------------------------------|---|-------------------------------|-------------------------|---|
| パブリック&フィナンシャル<br>(P&F)    | 393億円                          | ▲ 53億円<br>▲ 11.9%             | ↘ | 159億円                         | ▲ 12億円<br>▲ 8.6%        | ↘ |
| エンタープライズITサービス<br>(E-IT)  | 50億円                           | ▲ 8億円<br>▲ 14.2%              | ↘ | 0億円                           | ▲ 28億円<br>▲ 97.0%       | ↘ |
| ソリューション & テクノロジー<br>(S&T) | 38億円                           | ▲ 10億円<br>▲ 20.9%             | ↘ | 20億円                          | + 1億円<br>+ 8.0%         | ↗ |
| グローバルビジネス<br>(GB)         | ▲4億円<br>【59億円】                 | + 13億円<br>+ 77.3%<br>【+ 20億円】 | ↗ | 3億円<br>【25億円】                 | + 8億円<br>- %<br>【+ 8億円】 | ↗ |
| 連結値                       | 488億円                          | ▲25億円<br>▲ 4.9%               | ↘ | 187億円                         | ▲ 18億円<br>▲ 9.2%        | ↘ |

(\*) 開示セグメントの変更に伴い、2012年3月期実績の値を以前開示した数値から変更。前年同期比は変更後の数値に基づき算出。  
 (\*\*) セグメント別は内部取引や全社費用の配分額を含む。なお、今年度から全社費用の配分方法を見直している。  
 (\*\*\*) グローバルビジネスセグメントの【】内数値はのれん償却戻し後営業利益を示す。  
 (\*\*\*\*) 連結値はその他/消去を含むため、各セグメントの単純合算とは整合しない。

Copyright © 2013 NTT DATA Corporation

7

続きまして、営業利益です。

P&Fは、第3四半期において、12億円の減益となりましたが、これは主に前年同期に完成した大規模システム・ソフト開発の反動減によるものです。なお、第2四半期にご説明した統合ITソリューションについては、減収要素ではありましたが、減価償却費の減少効果も出てきており、第3四半期の3か月間では減益要素にはなっておりません。

E-ITにおいては、前期に比べて機器販売のウェイトが高くなったことやお客様からのコスト低減要請の影響等で利益率が悪化した案件もあり、減益となりました。

S&Tは前年同期比10億円の減益ですが、全社コスト配分方法を今年度見直しており、その影響を除いた実力ベースでは、ほぼ前期並みです。

GBにおいては、欧米を中心とした既存子会社の増収に伴う利益増や継続的に取り組んでおります利益改善施策の効果により、増益となりました。なお、GBののれん償却費戻し後の営業利益は59億円と、上期に続き実力ベースでは黒字です。

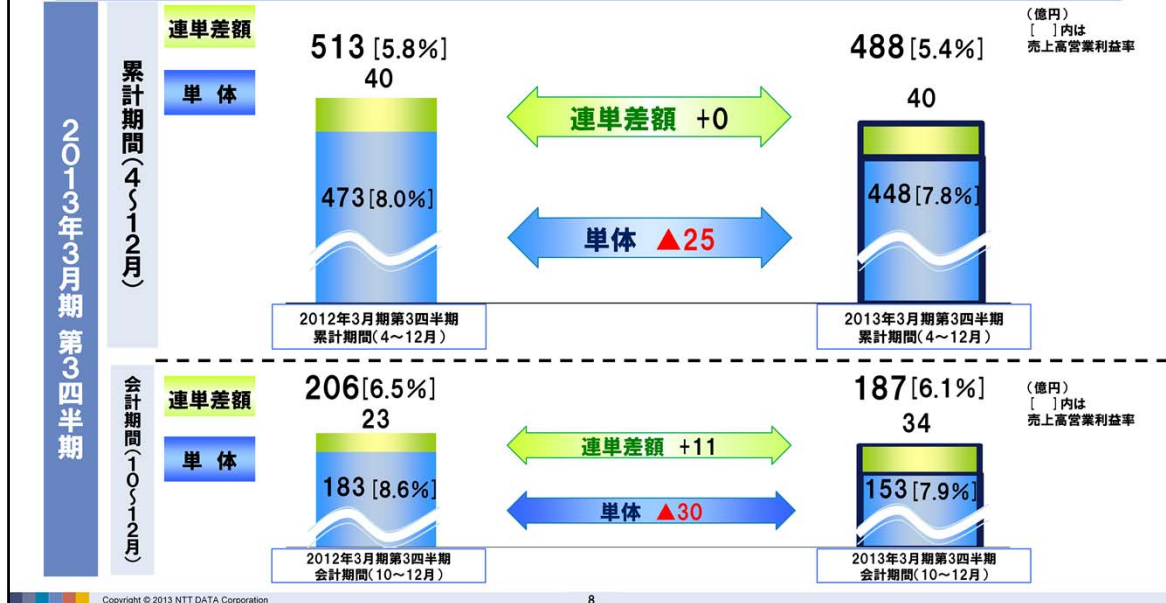
以上の結果、全体では前年同期比▲4.9%の減益となりました。

第3四半期の減益の要因については、P&Fにおける一過性の反動減や、E-ITにおいて機器販売等の利益率の低い案件比率が一時的に高まったことによる影響が大きいことから、通期計画に向けての進捗は想定内です。

## 営業利益の増減

NTT DATA

単体は、前期に完成した大規模システムの反動減の影響等により減益。  
連単差額は、欧米を中心とした海外子会社の増収に伴う利益増や利益改善施策の効果等もあるものの、国内子会社における不採算案件もあり、累計期間では前期並み。



こちらは、営業利益の増減を当社単体と連単差額別に表したものです。

セグメントごとの増減要因とも一部重複しますが、

単体では、前期に完成した大規模システムの反動減の影響等により、前年同期比 ▲25億円の減益となりました。

不採算案件は減少しているものの、機器販売や新規案件等の売上構成比が高まっていることもあり、大規模システム反動減の影響を吸収するまでには至っていないのが現状です。

一方、連単差額は、欧米を中心とした海外子会社の増収に伴う利益増や利益改善施策の効果等はあるものの、国内子会社の一部で発生した不採算案件の影響等により、ほぼ前期並みとなっています。



## セグメント利益

NTT DATA

P&Fは、営業利益の減益影響等により減益。

E-ITは、営業減益に加え、グループ会社統合再編に伴う費用等の影響により減益。

S&Tは、オフィスビル収容見直しに伴う費用等の影響により減益。

GBは、営業増益であるものの、グループ会社統合再編に伴う費用等の影響により減益。

|                           | 2013年3月期<br>第3四半期累計<br>(4~12月) | 前年同期比              |   | 2013年3月期<br>第3四半期<br>(10~12月) | 前年同期比              |   |
|---------------------------|--------------------------------|--------------------|---|-------------------------------|--------------------|---|
| パブリック&フィナンシャル<br>(P&F)    | 395億円                          | ▲ 42億円<br>▲ 9.6%   | ↘ | 159億円                         | ▲ 4億円<br>▲ 2.5%    | ↘ |
| エンタープライズITサービス<br>(E-IT)  | 45億円                           | ▲ 17億円<br>▲ 27.9%  | ↘ | ▲3億円                          | ▲ 35億円<br>▲ 112.0% | ↘ |
| ソリューション & テクノロジー<br>(S&T) | 28億円                           | ▲ 16億円<br>▲ 36.5%  | ↘ | 10億円                          | ▲ 6億円<br>▲ 38.3%   | ↘ |
| グローバルビジネス<br>(GB)         | ▲36億円                          | ▲ 18億円<br>▲ 106.2% | ↘ | ▲5億円                          | + 0億円<br>+2.1%     | ↗ |
| 連結値                       | 420億円                          | ▲48億円<br>▲ 10.3%   | ↘ | 170億円                         | ▲ 14億円<br>▲ 7.8%   | ↘ |

(\*) セグメント利益は税金等調整前当期(四半期)純利益を示す。

(\*) 開示セグメントの変更に伴い、2012年3月期実績の値を以前開示した数値から変更。前年同期比は変更後の数値に基づき算出。

(\*) セグメント別は内部取引や全社費用の配分額を含む。なお、今年度から全社費用の配分方法を見直ししている。

(\*) 連結値はその他/消去を含むため、各セグメントの単純合算とは整合しない。

Copyright © 2013 NTT DATA Corporation

9

セグメント利益については、営業利益でご説明した要因に加え、E-ITおよびGBセグメントでグループ会社統合再編に伴う関係会社再編損を計上したことや、S&Tにおいて、オフィスビル収容見直しに伴う費用が発生したこと等により、前年同期比▲10%の減益となりました。

なお、関係会社再編損は、特別損失として27億円を計上しております。

第3四半期実績についてのご説明は以上です。



次に、事業環境と最近の取組みなどについてご説明します。

- 政府全体の歳出は抑制傾向であり、IT予算の伸びも横ばい又は微減となる見込み。政権交代による予算編成方針への影響については注視していく。
- 金融機関では、クラウド等新規分野への投資増が想定される一方、IT投資は不透明な状況。

|                 |  |
|-----------------|--|
| 中央府省            | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 政府全体の歳出は抑制傾向であり、IT予算の伸びも横ばい又は微減となる見込み。政権交代による予算編成方針への影響については注視していく。</li> </ul>  |
| 地方自治体・地域ビジネス    | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 予算は全般的に引き締め傾向にあり、IT投資の軽減が期待できる共同利用化の動きはあるものの、入札等のコスト削減要求が厳しい環境となっている。</li> <li>• 防災関連システムを中心とした安全安心分野、スマートコミュニティ分野への関心が高まる可能性がある。</li> </ul>  |
| ヘルスケア           | <ul style="list-style-type: none"> <li>• IT戦略本部の新戦略(どこでもMY病院等)については、引き続き検討が進められており、状況を注視していく。</li> <li>• 後期高齢者医療制度に代わる新制度の法案提出が遅れており、IT投資時期も遅れることが想定される。</li> </ul>  |
| 大手銀行            | <ul style="list-style-type: none"> <li>• IT投資抑制の可能性はあるものの、一方で、BCP(Business Continuity Plan)の一環でBPOやクラウドといった分野への投資も想定されるため今後の動向を注視。</li> <li>• 既存業務の効率化やコスト削減効果が期待できる領域については一定のニーズが見込まれる。</li> </ul>  |
| 地方銀行            | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 業態全体の業績は回復基調から横ばいに推移していることから、コストダウン意欲は依然強く、共同化・アウトソーシングニーズが継続。</li> <li>• 他行との差別化を図るための戦略システム(顧客情報管理等)にも共同化ニーズの拡大が見込まれる。</li> </ul>   |
| 協同組織金融機関        | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 業績に影響を与える厳しい経営環境が続いており、IT投資は大幅な増加は期待できないものの安定的に推移の見通し。</li> <li>• 法制度対応等の必要最低限の投資が見込まれる。</li> </ul>   |
| 保険・証券・クレジット・その他 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 保険:業界全体のIT投資状況は厳しいものの、新規チャネル・新商品・事務効率化等への投資が見込まれる。</li> <li>• 証券:株高・円安により2013年3月期は黒字模様ではあるが、当面、法制度対応等、必要最低限の投資に留まる見込み。</li> <li>• クレジット:ポスト貸金業法の新ビジネス模索の流れは変わらず、マルチ端末、加盟店強化、ポイントなどが焦点。</li> </ul> |

最近の事業環境については、

まず、政府等においては、全体の歳出は抑制傾向であり、IT投資予算の伸びも横ばい、または微減となる見込みです。政権交代による予算編成方針への影響については、現在注視している状況です。

次に、金融機関においては、クラウド等新規分野への投資増が想定される一方、全般としてはIT投資は不透明な状況にあります。

詳細な顧客分野別の状況については、後ほどご覧ください。

|                |  |  |
|----------------|--|--|
| エンタープライズITサービス | 企業収益の先行き不透明感は依然として強く、国内IT投資についても力強さに欠ける。   |  |
|                | 通信・放送・ユーティリティ  | ・テレコム業界では、通信設備の増強や新サービスの開発、顧客マーケティング等に関するIT投資は堅調。  |
|                | 製造   | ・案件の新規・既存問わずITコスト削減への強い要請は継続している。<br>・日系企業の海外シフトが加速する中、グローバルデリバリー対応が求められている。   |
|                | 流通・サービス  | ・国内IT投資は低調に推移するも、売上拡大を目的とした顧客マーケティング強化等に関するIT投資需要が顕在化。<br>・国内企業の欧州、アジア圏への進出が見受けられ、それに伴う海外IT投資需要が見られる。  |
| ソリューション&テクノロジー | BCPの観点から、より信頼性の高いネットワークやデータセンターへの引き合いが堅調。  |  |
|                | ネットワーク   | ・金融機関向けの需要は引き続き堅調。法人分野の需要もクラウド利用・無線LAN化等に関して増加傾向にある。<br>・BCPのための冗長化へのニーズに加え、ネットワークの高度化による仮想化、OpenFlow技術、M2Mの導入ニーズが見込まれる。また、スマートデバイス向けの無線LANの投資が期待できる。  |
|                | データセンター等   | ・BCPの観点から、免震・耐震構造で自家発電設備や障害復旧環境を有するデータセンター及びBCPオフィス設置の問い合わせが継続している。また、顧客企業のグローバル化に対応する海外データセンター及びサポートのニーズや、データセンターの省電力化に対するニーズも引き続き堅調。   |
| グローバルビジネス      | グローバルIT投資は、地域ごとに異なるものの、全体的には引き続き堅調に成長しており、コンサルティング、ITアウトソーシング、BPO、特にクラウドサービスの成長が大きい。 |  |
|                | グローバル市場等<br>(海外現地ビジネス)   | <p>《NA》 米国における経済の改善は弱い、ITサービスは、比較的外国からの影響を受けず回復の傾向を示している。一方で“財政の崖”による影響で、連邦政府の歳出削減は継続される見込み。</p> <p>《EMEA》 欧州金融危機は一応の落ち着きを取り戻したものの、景気回復は遅れを見せており、IT投資に対しては慎重である。</p> <p>《China》 中国の経済成長は緩やかになっているが、政府機関が景気刺激策を打ち出しており、IT投資向上が期待される。また、3月に開幕する全国人民代表大会後の対日政策の動きを注視していく。</p> <p>《APAC》 経済発展段階が国によって様々であるが、社会インフラの展開や設備サービス等による成長を見込んでいる。</p> |

一般事業法人においても、企業収益の先行き不透明感は依然として強く、国内IT投資についても力強さに欠ける状況です。ただし、業界別にはいくつかの投資テーマも見られます。

クラウドやデータセンター等においては、BCPの観点から、より信頼性の高いネットワークやデータセンターへの引き合いが引き続き堅調に推移しています。

最後に、グローバル市場においては、地域ごとに状況は異なるものの、全体的にはIT投資は引き続き堅調に成長しており、コンサルティング、ITアウトソーシング、BPO、特にクラウドサービスの伸びが堅調です。

|   |  |  |
|---|--|--|
| 1 | CAFISを活用した法人向け即時口座振替機能提供サービスが「楽天Edy」および「しんきん情報サービス」に導入決定 | 当社が提供する、CAFISを活用した法人向け即時口座振替機能提供サービス「即時決済ゲートウェイサービス」の、楽天Edy株式会社および、株式会社しんきん情報サービスでの採用が決定。  |
| 2 | Twitterデータ提供サービスを開始                                      | 米Twitter社とのFirehose契約に基づき、Twitterデータ提供サービスを開始。ソーシャルメディア関連のビジネスを行う事業者との積極的なアライアンス活動を行うとともに、市場のニーズに合わせたより高度な分析API等を展開。   |
| 3 | 無線LANおまかせサービス™の販売を開始                                     | スマートデバイスの活用が急増している世の中の動向を踏まえ、当社のクラウドデータセンターの高機能な設備を共同利用することで、セキュアな無線LAN環境を、低コスト且つ短期間で構築し、システム運用を遠隔で一元的に実施することでお客様の管理負荷を軽減する「無線LANおまかせサービス」を販売開始。   |
| 4 | 「NTT DATA Business Solutions」の取組み                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・SAP等のソリューションを提供する会社群(itelligence社、及びAPAC地域3社: Extend Technologies社、Business Formula社、Cornerstone社)のブランドを「NTT DATA Business Solutions」とし、2012年11月より、先行してAPAC地域3社の商号を「NTT DATA Business Solutions」を基調とするものに統一して営業を開始。</li> <li>・ドイツitelligence社については、公開買付を実施。発行済株式数の95%以上を取得し、完全子会社化に向けてスクイーズアウト手続きを開始。</li> </ul> |
| 5 | オフショア拠点拡充の取組み  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国、インド、ベトナム等において、対日および対欧米向けオフショア開発の拠点拡大を推進中であり、子会社NTT DATA Myanmar Co., Ltd.の営業を開始。また、欧州向けオフショア開発を事業主体とするベトナムIT企業IFI Solution Joint Stock Company社の発行済株式100%を取得。</li> </ul>  |

続いて、最近の主な取組みをご紹介します。

こちらのスライドでは、今年度 10月以降の主な取組み事例をご紹介します。

各種新規サービスの提供開始や、グローバルではSAP等のソリューションを提供する会社群のブランド統一、itelligenceの完全子会社化に向けたスクイーズアウト手続き開始、さらに、オフショア拠点の拡充などに取り組んでおりますので、後ほどご覧いただければと思います。

■第3四半期まで好調な受注をもとに、第4四半期において原価率の改善等による一層の利益確保に努め、通期業績予想の達成を目指す。

(億円 [1株当たり配当額以外]、%)

|                        | 2012年3月期<br>実績① | 2013年3月期<br>予想② | 増減額<br>②-① | 増減率<br>②-① |
|------------------------|-----------------|-----------------|------------|------------|
| 受注高                    | 10,984          | 11,300          | + 315      | + 2.9      |
| 売上高                    | 12,511          | 12,800          | + 288      | + 2.3      |
| 営業利益                   | 804             | 850             | + 45       | + 5.7      |
| 営業利益率                  | 6.4             | 6.6             | -          | -          |
| 経常利益                   | 755             | 780             | + 24       | + 3.2      |
| セグメント利益 <sup>(*)</sup> | 718             | 730             | + 11       | + 1.6      |
| 当期純利益                  | 304             | 380             | + 75       | + 24.8     |
| EPS(円)                 | 10,854          | 13,547          | + 2,692    | + 24.8     |
| 1株当たり配当額(円)            | 6,000           | 6,000           |            |            |

(\*) セグメント利益は税金等調整前当期純利益を示す。

Copyright © 2013 NTT DATA Corporation

14

通期の業績見通しについては、当初予想からの変更はありません。

先ほどご説明した通り、受注については増加基調を維持しており、第4四半期に対前期での反動減を見込むものの、通期計画の1兆1,300億円は達成できる見通しです。

売上高についても、統合ITソリューションの減少や大規模案件の反動減は計画に織込み済みであり、第3四半期までの受注案件を確実に第4四半期の売上にすることや、連結拡大の効果により、1兆2,800億円の通期計画は達成できると考えております。

また、営業利益については、第4四半期において減価償却費負担が減少することや、コスト削減の徹底、引き続きオーガニックでの成長を目指すことにより、850億円の達成に向けて全力で取り組んでまいります。

以上で私の説明を終わらせていただき、ご質問を頂戴したいと思います。

ありがとうございました。



Copyright © 2013 NTT DATA Corporation

# 連結業績

NTT DATA

(単位: 億円、%)

|             | 2013年3月期 3Q<br>累計実績(4~12月) | 対前年<br>同期比(%) | 2013年3月期 3Q<br>実績(10~12月) | 対前年<br>同期比(%) | 2013年3月期<br>過期計画 |
|-------------|----------------------------|---------------|---------------------------|---------------|------------------|
| 受注高         | 9,188                      | +8.4          | 2,389                     | +0.2          | 11,300           |
| 受注残高        | 12,267                     | +2.2          |                           |               | 10,690           |
| 売上高         | 9,118                      | +2.6          | 3,070                     | △3.2          | 12,800           |
| 売上原価        | 6,901                      | +2.8          | 2,306                     | △3.7          | 9,560            |
| 売上総利益       | 2,216                      | +2.1          | 763                       | △1.6          | 3,240            |
| 販売費及び一般管理費  | 1,728                      | +4.2          | 576                       | +1.2          | 2,390            |
| 販売費         | 788                        | +4.1          | 266                       | +4.6          | 1,110            |
| 研究開発費       | 90                         | +1.0          | 29                        | △8.2          | 140              |
| 管理費等        | 849                        | +4.7          | 279                       | △0.8          | 1,140            |
| 営業利益        | 488                        | △4.9          | 187                       | △9.2          | 850              |
| 営業利益率       | 5.4                        | △0.4          | 6.1                       | △0.4          | 6.6              |
| 経常利益        | 447                        | △5.1          | 179                       | △2.6          | 780              |
| 特別損益        | △27                        | -             | △9                        | -             | △50              |
| 税金等調整前当期純利益 | 420                        | △10.3         | 170                       | △7.8          | 730              |
| 法人税等        | 200                        | △34.5         | 83                        | △42.2         | 350              |
| 当期(四半期)純利益  | 220                        | +34.6         | 86                        | +118.7        | 380              |
| 設備投資        | 829                        | △13.0         | 292                       | +5.0          | 1,330            |
| 減価償却費等      | 1,121                      | △2.5          | 380                       | △3.4          | 1,480            |

注: 「法人税等」には、「法人税、住民税及び事業税」のほか「法人税等調整額」及び「少数株主損益」を含む。

Copyright © 2013 NTT DATA Corporation

16



(単位:億円)

|                | 2012年3月期 3Q | 2013年3月期 3Q | 2012年 3月期  | 2013年 3月期  |
|----------------|-------------|-------------|------------|------------|
|                | 累計実績(4~12月) | 累計実績(4~12月) | 過期実績(4~3月) | 過期計画(4~3月) |
| パブリック&フィナンシャル  | 5,110       | 4,955       | 7,128      | 7,180      |
| エンタープライズITサービス | 1,919       | 2,039       | 2,699      | 2,760      |
| ソリューション&テクノロジー | 430         | 451         | 592        | 650        |
| グローバルビジネス      | 1,420       | 1,660       | 2,081      | 2,200      |

(\*) 開示セグメントの変更に伴い、2012年3月期実績の値を以前開示した数値から変更。

## 顧客分野・サービス別売上高(国内外顧客向け)

NTT DATA

(単位:億円)

|                                 |                | 2012年3月期 3Q | 2013年3月期 3Q | 2013年3月期 |
|---------------------------------|----------------|-------------|-------------|----------|
|                                 |                | 累計実績(4~12月) | 累計実績(4~12月) | 過期計画     |
| <b>パブリック&amp;フィナンシャル</b>        |                |             |             |          |
| (再掲)                            | 中央府省関係・海外公共機関等 | 907         | 952         | 1,390    |
|                                 | 地方自治体・地域ビジネス   | 455         | 537         | 1,030    |
|                                 | ヘルスケア          | 179         | 127         | 180      |
|                                 | 銀行             | 1,623       | 1,268       | 1,750    |
|                                 | 協同組織金融機関       | 711         | 655         | 920      |
|                                 | 保険・証券・クレジット    | 663         | 772         | 1,100    |
|                                 | 決済サービス         | 548         | 615         | 780      |
| <b>エンタープライズITサービス</b>           |                |             |             |          |
| (再掲)                            | 通信・放送・ユーティリティ  | 889         | 979         | 1,310    |
|                                 | 製造             | 557         | 641         | 840      |
|                                 | 流通・サービス        | 331         | 311         | 450      |
| <b>ソリューション&amp;テクノロジー</b>       |                |             |             |          |
| (再掲)                            | ネットワーク         | 151         | 158         | 210      |
|                                 | データセンタ等        | 210         | 211         | 320      |
| <b>統合ITソリューション</b>              |                | 3,260       | 3,219       | 4,270    |
| <b>システム・ソフト開発</b>               |                | 2,382       | 2,345       | 3,900    |
| <b>コンサルティング・サポート</b>            |                | 2,883       | 3,178       | 4,050    |
| <b>その他</b>                      |                | 361         | 375         | 580      |
| <b>製品及びサービス別の売上高(外部顧客向け) 合計</b> |                | 8,887       | 9,118       | 12,800   |

(\*1) ソリューション&テクノロジーカンパニーの外部顧客向け売上高には他カンパニー経由の案件を含まない。

(\*2) エンタープライズITサービスは、2012年4月に、グローバルITサービスより名称を変更しました。

(\*3) 開示セグメントの変更に伴い、2012年3月期実績の値を以前開示した数値から変更。

顧客分野・サービス別受注高(国内外顧客向け)

NTT DATA

(単位:億円)

|                           |                | 2012年3月期 3Q<br>累計実績(4~12月) | 2013年3月期 3Q<br>累計実績(4~12月) | 2013年3月期<br>通期計画 |
|---------------------------|----------------|----------------------------|----------------------------|------------------|
| <b>パブリック&amp;フィナンシャル</b>  |                |                            |                            |                  |
| (再掲)                      | 中央府省関係・海外公共機関等 | 1,180                      | 1,038                      | 1,370            |
|                           | 地方自治体・地域ビジネス   | 607                        | 742                        | 1,020            |
|                           | ヘルスケア          | 149                        | 134                        | 150              |
|                           | 銀行             | 1,067                      | 1,403                      | 1,340            |
|                           | 協同組織金融機関       | 709                        | 789                        | 760              |
|                           | 保険・証券・クレジット    | 707                        | 726                        | 1,050            |
|                           | 決済サービス         | 133                        | 231                        | 200              |
| <b>エンタープライズITサービス</b>     |                |                            |                            |                  |
| (再掲)                      | 通信・放送・ユーティリティ  | 1,000                      | 1,001                      | 1,320            |
|                           | 製造             | 681                        | 671                        | 890              |
|                           | 流通・サービス        | 299                        | 307                        | 390              |
| <b>ソリューション&amp;テクノロジー</b> |                |                            |                            |                  |
| (再掲)                      | ネットワーク         | 7                          | 16                         | 10               |
|                           | データセンタ等        | 180                        | 155                        | 260              |

- (\*1) ソリューション&テクノロジーカンパニーの外部顧客向け売上高には他カンパニー経由の案件を含まない。  
 (\*2) エンタープライズITサービスは、2012年4月に、グローバルITサービスより名称を変更しました。  
 (\*3) 開示セグメントの変更に伴い、2012年3月期実績の値を以前開示した数値から変更。

# 単体業績

NTT DATA

(単位:億円、%)

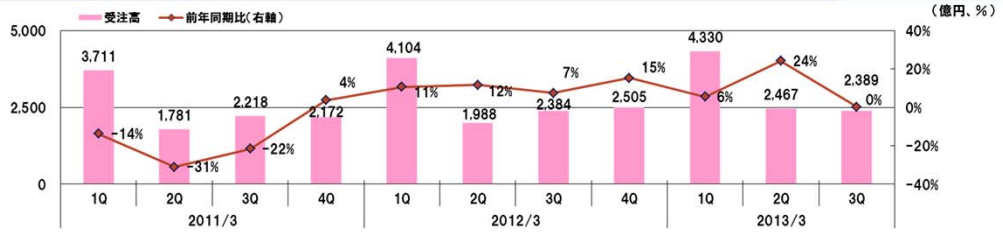
|            | 2012年3月期 3Q<br>累計実績(4~12月) | 2013年3月期 3Q<br>累計実績(4~12月) | 2013年3月期<br>過期計画 |
|------------|----------------------------|----------------------------|------------------|
| 受注高        | 5,234                      | 5,596                      | 6,500            |
| 受注残高       | 10,103                     | 9,928                      | 8,670            |
| 売上高        | 5,909                      | 5,754                      | 8,100            |
| 売上原価       | 4,562                      | 4,430                      | 6,180            |
| 売上総利益      | 1,346                      | 1,324                      | 1,920            |
| 販売費及び一般管理費 | 873                        | 876                        | 1,240            |
| 販売費        | 394                        | 394                        | 550              |
| 研究開発費      | 83                         | 82                         | 120              |
| 管理費等       | 395                        | 399                        | 570              |
| 営業利益       | 473                        | 448                        | 680              |
| 営業利益率      | 8.0                        | 7.8                        | 8.4              |
| 経常利益       | 472                        | 450                        | 630              |
| 特別損益       | △41                        | -                          | △20              |
| 税引前当期純利益   | 430                        | 450                        | 610              |
| 法人税等他      | 229                        | 157                        | 220              |
| 当期(四半期)純利益 | 200                        | 293                        | 390              |
| 設備投資       | 801                        | 726                        | 1,210            |
| 減価償却費等     | 949                        | 957                        | 1,290            |

注:「法人税等他」には、「法人税、住民税及び事業税」のほか「法人税等調整額」を含む。

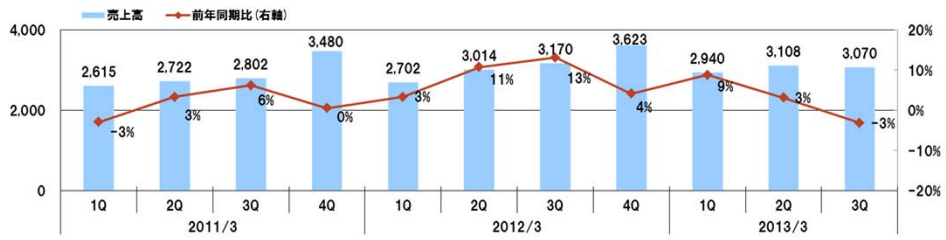
# 四半期情報(連結)

NTT DATA

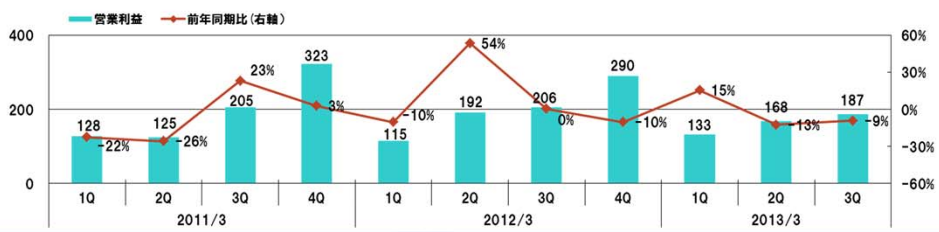
## ■受注高



## ■売上高



## ■営業利益



Copyright © 2013 NTT DATA Corporation